

あかいかな下経路調査

(抄録)

油野 晃・今村 豊

漁 況

2002年度のアカイカ南下期(10～翌年4月)において八戸港へ水揚げされたアカイカは5,434トンで、2001年度同期の8,952トンの6割程度にまで減少した。10、11月の漁場調査では道東沖においてアカイカの好漁場を確認したが、日本海側でのスルメイカの豊漁もあり、アカイカ漁へと切り替えたいか釣り船は数隻にとどまった。翌年1月には、三陸沖において漁場が形成され、2月にはいつてからも金華山沖で漁場形成が続いたことから、2月以降の水揚げ量は昨年度並みにまで回復した。

漁場調査

2002年9月～翌年2月に東経150度以西の海域において、試験船開運丸(208トン)でアカイカの漁場調査を実施した。調査は9、11、12、2月の計4航海にわたって行い、104調査点での海洋観測と、43調査点での釣獲試験を行った。アカイカの総漁獲尾数は8,900尾、CPUEは0～21尾台であった。

・第1次南下経路調査 9月24日～10月7日 14日間

37調査点での海洋観測と、17調査点での釣獲試験を行った。17操業点中14点でアカイカが採集され、総採集尾数は3,673尾、CPUEは0～21尾台であった。

・第2次南下経路調査 11月5日～15日 11日間

21調査点での海洋観測と、9調査点での釣獲試験を行った。9操業点中7点でアカイカが採集され、総採集尾数は4,203尾、CPUEは0～12尾台であった。

・第3次南下経路調査 12月3日～13日 11日間

18調査点での海洋観測と、7調査点での釣獲試験を行った。7操業点中6点でアカイカが採集され、総採集尾数は560尾、CPUEは0～2尾台であった。

・第4次南下経路調査 2月17日～27日 11日間

28調査点での海洋観測と、10調査点での釣獲試験を行った。10操業点中7点でアカイカが採集され、総採集尾数は464尾、CPUEは0～2尾台であった。

発表誌：平成14年度いか釣漁場開発調査資料28号及び平成14年度外洋性イカ(スルメイカ・アカイカ)に関する生物測定・標識放流・海洋観測結果基礎資料集 青森県水産総合研究センター